

令和5年度 企業部門

受賞者	活動内容	評価ポイント
トヨタ自動車株式会社 士別試験場	<p style="text-align: center;">【士別の多様な生きもの共生プロジェクト】</p> <p>試験場内において、次の3つの取組を実施している。</p> <p>① 重要種の保全（エゾサンショウウオのモニタリング調査や卵の捕食を防ぐためのネット設置など）</p> <p>② 外来種の防除（特定外来生物アライグマの生息状況調査及びその結果に基づいたわなの設置など）</p> <p>③ 地域連携イベント（士別市立博物館と連携した地域住民参加型イベントの開催）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際的な評価にも通じる活動を行っており、総合的に見て素晴らしい。 ○ 有識者の助言、地域の巻き込みもある、しっかりとした取組を行っており、その取組をマニュアル化して、後年にも残る形としていることが評価できる。 ○ 今後は樹林環境にも焦点をあてるといことで、さらに地域の生物多様性について深めていく発展性もある。 ○ 他の企業や団体等が参考とできるような、より簡易な取組があるとより良かった。

活動の様子



表彰式等

後日掲載予定

令和5年度 企業部門

受賞者	活動内容	評価ポイント
萩原建設工業株式会社	<p style="text-align: center;">【機関庫の川におけるウチダザリガニ防除】</p> <p>十勝川水系売買川支流機関庫の川に特定外来生物ウチダザリガニが生息していることを確認し、平成21年（2009年）からウチダザリガニの捕獲・処分・啓発活動を行っている。</p> <p>活動に当たっては、帯広市の学芸員や環境省の自然保護官などから技術面の指導や協力を受け、社員にて捕獲・測定・処分を行い、時には地元の高校とも協力しながら実施している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウチダザリガニの防除活動を企業が主体となって実施している事例は珍しく、評価できる。 ○ 通常の業務の中で確認した地域の外来種問題を、自社の取組として実施したという経緯がすばらしい。 ○ 13年間という長期間にわたり継続してきたことが評価できる。また、非常に低廉な費用で活動を実施しているところは、他の活動の手本となる。 ○ 活動の際には、ウチダザリガニだけでなく、在来種等の情報も得られると思うので、その点にも着目するとより良い。

活動の様子



表彰式等



後日掲載予定

令和5年度 一般部門

受賞者	活動内容	評価ポイント
札幌南ふゆみずたんぼの会	<p style="text-align: center;">【ふゆみずたんぼで生き物しらべ】</p> <p>ふゆみずたんぼ（冬期湛水田）において親子や地域の小学校児童、学童保育所などを対象にたんぼ体験やレクチャー、アクティビティを実施し、生物多様性等を楽しく学ぶことができる機会を提供している。</p> <p>たんぼ体験においては、田植えや稲刈り、新米試食などの稲作に加え、納豆づくりやしめ飾りづくり、生き物調べを実施し、文化・伝統や生物多様性に触れることができるものとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都市部で暮らす子どもたちが、水生の昆虫に触れる機会は少ないと思うので、その機会を提供しているところが評価できる。 ○ たんぼという「食」に関わる場所で実施し文化面にも関わりつつ、生き物を伝える活動となっており評価できる。 ○ 未就学児を対象としたプログラムを設けるなど、親子という世代を超えて一緒に体験できる形で、長年活動していることが評価できる。 ○ 他の団体等がこの活動を参考とする場合には、「ふゆみずたんぼ」にこだわらなくとも、取り込める要素を持っている。

活動の様子



表彰式等

後日掲載予定